

戦争を語り継ぐ

戦争と平和について山陰に関わるテーマから学び、考える特別講座「戦争を語り継ぐ」第3期は、「大社基地」「防空監視体制」「招魂祭」を取り上げます。

山陰中央新報社文化センター松江教室 特別講座

第3期【1】1月14日(火) 13:30~15:00



大社基地の何が重要なのか

講師 若槻 真治

(戦後史会議・松江世話人代表)



海軍航空基地がどのように造られ、そしてそれが戦況の悪化とともにどのように解体していくのか。さらにその中で大社基地はどのように位置づけられるのか。それらを通じて“飛行機の戦争”であるとともに“航空基地の戦争”でもあった十五年戦争を振り返ります。

第3期【2】1月28日(火) 13:30~15:00



昭和戦前期における島根県の防空監視について

講師 高塚 久司

(島根県における空襲とその時代、探求人。)

昭和戦前期の島根県でも、日中戦争期を迎えて以降「防空監視体制」が構築されました。昨年7月に山陰中央新報文化面でお伝えした海軍だけでなく、陸軍等の取り組みにも触れながら、お話しします。



日御碕高尾山レーダー基地跡

第3期【3】2月25日(火) 13:30~15:00

戦時体制支えた招魂祭

講師 有馬 誉夫

(元島根観光学会会長)



浜田連隊軍人墓地

郷土から出征した戦没兵士は「英霊」となって迎えられ、「慰霊」と、「顕彰」の儀式で祀られました。「招魂祭」は追悼の中に、戦時体制を支える、上(国家)からと下(庶民)からとの意識がせめぎあい融合する儀礼でした。

要申し込み

会場 山陰中央新報社文化センター松江教室
(松江市殿町383 山陰中央ビル4、5階)
受講料 6,600円(3講義分) ※特定の回だけの受講もできます

松江教室 電話(0852)32-3456 フリーダイヤル 0120-079-123

- 第4期 ①3月11日(火) 「忘れられた戦争を写真でめぐる」 高嶋敏展(写真家)
②3月25日(火) 「島根の西南戦争記念碑」(仮) 西尾克己(大田市文化財保護審議会委員)
③4月8日(火) 「朗読で伝える」 石原美和(フリーアナウンサー)
④4月22日(火) 「島根県内の戦争体験を継承する意義と可能性」 板垣貴志(島根大学法文学部准教授)